

アスタースバイ認知症対応ホーム

お話：センターリーダー・Ms.ギッテ・リムキル
報告者：内山 百合子



<アスタースバイセンターの正面玄関で>

★アスタースバイセンターの詳細

ロスキレ市には現在9つの介護センターがあり、アスタースバイセンターはその中でも認知症専門のセンターです。アスタースバイセンターに入居できる条件は、医師の認知症との診断後、市の判定委員会の判定を受けた方です。1部屋25m²と広々とした個室でトイレ、バス、花を植えたり家族やスタッフとの交流の場としてテラスがついています。48室と、その他に家族の負担を軽減したり家族が旅行に行く時やリハビリのためのショートステイ用に2部屋あります。部屋を見せていただきましたが自宅で使っていた家具が持ち込まれ、家族写真・思い出の物な

どもたくさん飾り、自宅で生活していた頃が尊重されているので安心して生活できるのではと思いました。



<ホームの裏庭のバンガローで旅行気分を味わう>

★アスターズバイセンターの援助方針

スタッフは、常に「入居者は一人一人違う」ことを念頭におき、「自分らしく」生活できるように心掛けています。そのため一人一人を認めること、参加させること、話を聞くこと、置き去りにしないこと、安心感をあたえること、温かい心で接すること、出来ないところを支援することを意識して介護、看護に努めています。そして毎日楽しく過ごしていただくために自分たちが笑うことも心掛けています。センター内の見学時スタッフの皆さんがとても明るく入居者の皆さんと接しており、落ち着いて過ごされ、とても良い表情をされていたのが印象的でした。



★マーサミオについて

認知症専門のセンターであるため特別な対応が必要とされ、「マーサメオ方式」を取り入れ実践しています。オランダで幼児教育として開発されたものを介護として応用しているとのこと。その方法とは、入居者とスタッフのコミュニケーションをビデオに収め残存機能、問題行動等を分析し入居者の生活を価値あるものにしていきます。これによって怒鳴ったり、暴れたりする入居者が落ち着いて過ごされるようになります。

★質疑応答

Q：スタッフのユニフォームはありますか？

A：ユニフォームを無くした時もありましたが、入居者、家族等誰がスタッフかわらなくなってしまうのと、衛生上で今はユニフォームを使用しています。

Q：スタッフの勤務時間を教えてください。

A：3交代で①7:00～15:00②15:00～23:00③23:00～7:00です。①7:00～15:00は入居者12人に対しスタッフ3～4名②15:00～23:00は2名③23:00～7:00は入居者48人に対し2名と看護師1名です。